

## 課題② プロシードィング - 研究実績の記載要領の例

資料1-2

### ■ 科研費 基盤研究S 研究計画調書作成・記入要領

研究代表者・研究分担者毎に研究者調書を作成・添付

基盤研究（S）9-（1）

【令和2（2020）年度基盤研究（S）研究者調書（研究代表者）】

研究者 (ふりがな) 氏名 (代表)	生年月日 (年齢)	年 月 日 (歳)
所属研究機関・ 部局・職	学位	

**研究遂行能力及び研究環境**  
本欄には応募者の研究計画の実行可能性を示すため、(1)研究代表者のこれまでの研究活動、(2)研究代表者の研究環境（研究遂行に必要な研究施設・設備・研究資料等を含む）、(3)研究組織全体の研究環境（研究遂行に必要な研究施設・設備・研究資料等を含む）について、2頁以内で記述すること。  
「(1)研究代表者のこれまでの研究活動」の記述には、研究活動を中断していた期間がある場合にはその説明などを含めてもよい。

#### （1）研究代表者のこれまでの研究活動

※留意事項

- 研究業績（論文、著書、産業財産権、招待講演等）**は、網羅的に記載するのではなく、本研究計画の実行可能性を説明する上で、その根拠となる文献等の主要なものを適宜記載すること。
- 研究業績の記述に当たっては、当該研究業績を同定するに十分な情報を記載すること。  
例として、学術論文の場合に論文名、著者名、掲載誌名、巻号や頁数、発表年（西暦）著書の場合はその書籍情報など。
- 論文は、既に掲載されているもの又は掲載が確定しているものに限って記載すること。
- 本留意事項（斜体の文書）は、研究計画調書の作成時には削除すること。

### ■ JST CREST 研究提案書記入要領

2020 様式（CREST）

（CREST - 様式 2-2）

研究代表者の主要業績

#### ○主要論文・招待講演リスト

- 様式 2-2 では、主要論文・招待講演リストを、A4用紙1ページ以内（厳守）で記述してください。（これらが遵守されていない場合、研究提案が不受理となることがあります。）
- 文字の大きさや行間を調整していただいかまいません。
- 主たる共同研究者のものは記入しないでください。

#### （1）主要論文リスト（10件以内）

- 研究提案者となる研究代表者の主要論文10件以内を、様式6（業績リスト・過去の研究代表業績（研究代表者））の「1. 本研究提案に関連する主要な論文・著書等」から選択して記入してください。
- 現在から順に発表年次を過去に遡って記述してください。  
記述にあたっては、行頭に連番を付けてください。

・論文の記載項目は以下の通りとしてください（著書の場合はこれに準じてください）。

項目順は自由です。

#### 【記載項目】

著者（著者は全て記入してください。また、研究代表者に下線を引いてください。）、発表論文名、  
掲載誌、巻号・ページ・発表年

### ■ JST さきがけ 研究提案書記入要領

2020 様式（さきがけ）

（さきがけ - 様式 2-2）

研究提案者の主要業績

#### ○研究提案者の主要業績

- 様式 2-2 では、主要論文・招待講演リストを、M4用紙1ページ以内（厳守）で記述してください。（遵守されていない場合、研究提案が不受理となることがあります。）
- 文字の大きさや行間を調整していただいかまいません。

#### （1）主要論文リスト（5件以内）

- 研究提案者の主要論文5件以内を、様式4（業績リスト・過去の研究代表業績）の「I. 主要な論文・著書等」から選択して記入してください。
- 現在から順に発表年次を過去に遡って記述してください。  
記述にあたっては、行頭に連番を付けてください。
- 論文の記載項目は以下の通りとしてください（著書の場合はこれに準じてください）。項目順は自由です。

#### 【記載項目】

著者（著者は全て記入してください。また、提案者に下線を引いてください。）、発表論文名、  
掲載誌、巻号・ページ・発表年

# 課題② プロシードィング - 研究実績の記載要領の例

## ■ 内閣府SIP第2期 提案書記載例

3. 当該技術又は関連技術の研究開発実績

### 3-1. 当該提案に有用な研究開発実績

研究開発テーマに沿って、提案する方式又は方法に関する国内外の状況、その中の提案者の本研究開発若しくは本研究開発の円滑な遂行に資する関連研究開発の実績及びその位置づけ等を、研究発表等を引用して記載し、提案内容を達成できる能力を有していることを携わる全ての研究機関（共同実施先及び再委託先を含む。）を対象に説明してください。

## ■ 総務省SCOPE 提案書様式

### 1.1 研究者経歴

以下の記載例にしたがって記載してください。

プログラムが「ICT 基礎・育成型研究開発」である場合において、提案要件「② 42歳以下の研究者であって、出産・育児や研究・技術開発以外の職業に従事した経験等、研究に従事していない期間について研究開発課題提案書に記述して申請する場合」を適用する場合には、「研究に従事していない期間」の詳細を含め、記載例2に従って記載してください。

(記載例1)

\*\*\*\*\*年 \*\*月 ○○大学○○学部○○学科卒業  
\*\*\*\*\*年 \*\*月 ○○大学○○学院○○研究科○○専攻修習課程修了  
\*\*\*\*\*年 \*\*月 ○○大学○○学院○○学研究科○○専攻博士課程修了  
\*\*\*\*\*年 \*\*月 博士号取得 (○○学博士○○専攻)  
\*\*\*\*\*年 \*\*月 ○○○○株式会社 ○○研究所  
○○に関する研究開発に従事  
\*\*\*\*\*年 \*\*月 ○○○○株式会社 ○○研究所 ○○研究室 主任研究員  
○○に関する研究開発に従事  
\*\*\*\*\*年 \*\*月 ○○大学○○学院○○学研究科 教授  
○○に関する研究開発に従事

(記載例2)

\*\*\*\*\*年 \*\*月 ○○大学○○学部○○学科卒業  
\*\*\*\*\*年 \*\*月 ○○○○株式会社 営業部  
○○の製造販売における営業に従事  
\*\*\*\*\*年 \*\*月 ○○大学○○学院○○学研究科○○専攻修習課程修了  
\*\*\*\*\*年 \*\*月 ○○○○株式会社 ○○研究所 ○○研究室  
○○に関する研究開発に従事  
\*\*\*\*\*年 \*\*月～\*\*\*\*年 \*\*月 第1子出産に伴う育児休業を取得

### 1.2 研究開発課題に関連する主要な発表論文・著書・特許等

主なものを10件程度記入してください。

論文の場合、著者名、タイトル、誌名、巻、号、ページ、発表年(西暦)を記載してください。著書、特許も左記に準じます。

## ■ NEDO 公募提案書様式

【追加資料5】

主任研究者 研究経歴書							経歴書作成日:		
氏名									
フリガナ									
生年月日(西暦)									
所属研究機関の「e-Res 研究開拓コード(10桁) (所属研究機関の研究代表者は必須。)」									
e-Res 研究者番号(8桁)									
(所属研究機関の研究代表者は必須。代表者以外は不明または複数している場合は省略可)									
所属									
部署名									
役職名									
所属機関の研究者代表 (該当: 1 非該当: 2)									
最終学歴									
学位									
学位取得年(西暦)									
研究開拓経歴(西暦※現職含む)									
年	～	年	研究開拓内容						
受賞歴(西暦※年月)									
年	月	主催者名	表彰制度名称	受賞名称	受賞件名		備考		
当該研究開拓に関連する最近5年間の成果等(各主要なもの10件以下)									
論文	発表年	月	主な著者1	著者2	著者3	表題	論文雑誌名	巻号(Vol.)	備考
研究発表	発表年	月	主催者名	イベント名	発表者	発表タイトル			備考
特許等	出願年	月	出願番号	登録番号	発明等の名称				備考
その他	年	月	タイトル	自由記述					
本研究開拓プロジェクトにおける役割									
研究開拓等実施体制の審査のために利用されます。ただし、法令等により提供を求められた場合を除きます。									

※下線は事務局にて付記したもの。

## 課題② プロシードィング

### - 研究実績の記載要領の例

(参考) 関連動向(科研費における議論)

#### 研究計画調書の変更(研究業績欄)について①

公募  
関係

研究計画調書に記載する研究業績については、当該研究計画に対する研究遂行能力を有しているか確認するためのものであることを明確化するため、審議会等による議論を経て、平成31（2019）年度公募より、基盤研究等における研究計画調書の「**研究代表者および研究分担者の研究業績**」欄を「**応募者の研究遂行能力及び研究環境**」欄に変更

しかしながら、

平成31（2019）年度の応募・審査時において、当該変更を受け、一部の研究者等の間で研究計画調書に「**研究業績を書けなくなった**」、「**研究業績を書かなくてよくなった**」など、誤った認識として捉えられている事例もあり、変更の趣旨が十分に伝わっていない点も見受けられました。

そのため、

令和2（2020）年度公募においては、**変更の趣旨を改めて周知**するとともに、  
当該欄に論文等の研究業績を書くことができることを明確にし、論文を引用する場合の記載方法の例を研究計画調書の留意事項に記載しています。

## 課題② プロシードィング

### - 研究実績の記載要領の例

## 研究計画調書の変更(研究業績欄)について③

公募  
関係

【科学技術・学術審議会学術分科会科学研究費補助金審査部会等における議論の概要】

#### (問題意識等)

- 「研究業績」欄に必ずしも研究課題とは関係のない業績を不必要に連ねたりする可能性など、審議過程において応募、審査の本来の在り方を歪めかねない実態があるのではないか。
- 「研究業績」欄が、応募者にとって「できるだけ多くの業績でスペースを埋めなければ審査において不利になるのではないか。」といった誤った認識を与えていたりする可能性があるのではないか。
- 研究代表者及び研究分担者の分担内容に応じた研究遂行能力を評価するために研究業績等の確認は必要だが、研究業績等の「書かせ方」については一考の余地がある。
- 科研費の審査に関し、あたかも業績偏重主義であるかのような認識を応募者その他に与える可能性については、できるだけ是正を試みるべきであり、そのための工夫を考慮する必要がある。
- 「研究業績」欄を引き続き活用する場合にあっては、応募者が研究遂行能力の評価に必要な情報を適切に記載できるような配慮が必要。(単に「欄を埋める」ことが重要であるかのような印象を払拭する必要がある。)
- 研究業績等による研究遂行能力の評価について、応募者、審査担当者の双方に正しい認識を醸成するよう努めることが必要。

#### (研究計画調書の変更に当たっての基本的な考え方等)

- 科研費の審査は、研究代表者から提案された研究課題について、学術的独自性や創造性、研究目的の明確さ等を考慮するとともに、当該研究者の研究遂行能力をも厳正に評価し、研究課題を選定することとしている。
- 研究計画調書における研究業績の位置付けは、研究計画調書に記載された研究を遂行するに当たり、実行可能性を判断するためのもの。
- これらの趣旨を踏まえ、研究業績の取扱いについては、当該研究計画に対する研究遂行能力を有しているかを確認するものであることを明確化する。

※下線は事務局にて付記したもの。